
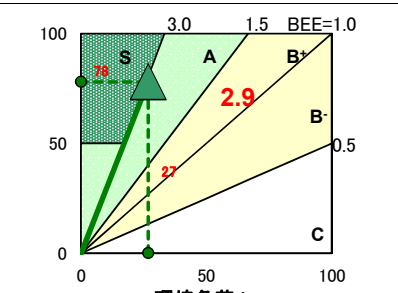
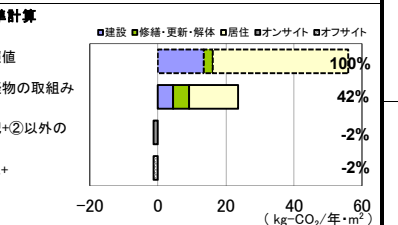
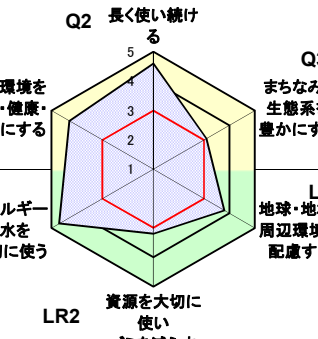


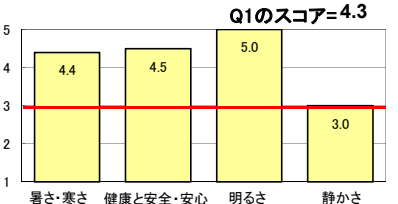
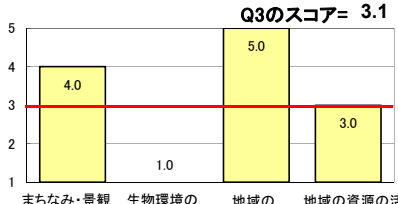
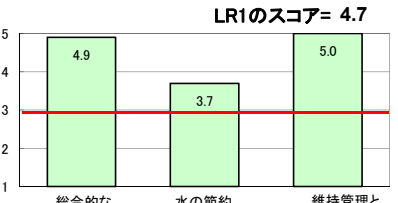
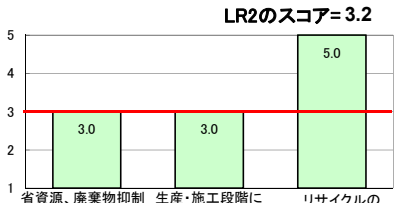
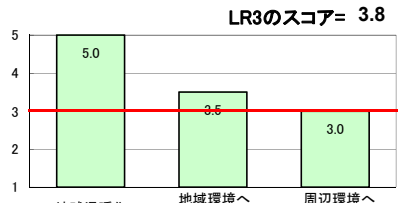


■使用評価マニュアルCASBEE-戸建（新築）2016年版

■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	
竣工年月	2017年9月	竣工	持ち込み家電等	仮	
建設地	横浜市磯子区馬場町	確定	外構の仕様	仮	
用途地域	第一種住居				
省エネルギー地域区分	6地域	評価の実施日	2017年5月3日		
構造・構法	軽量鉄骨造	作成者	小谷秀樹		
階数	2階建て	確認日	2017年5月8日		
敷地面積	106 m <sup>2</sup>	確定	確認者	池邊佑樹	
建築面積	61 m <sup>2</sup>	確定			
延床面積	112 m <sup>2</sup>	確定			
世帯人数	2	確定			

2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE = 2.9</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> 	<p>★★★★★</p> <p>~0% ☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆ ~100% ☆☆ 100%超 ☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	 <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q のスコア = 4.1</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>Q1のスコア = 4.3</p> 	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>Q2のスコア = 4.6</p> 	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>Q3のスコア = 3.1</p> 
<p><b>LR のスコア = 3.9</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>LR1のスコア = 4.7</p> 	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>LR2のスコア = 3.2</p> 	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>LR3のスコア = 3.8</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>日射、通風、換気計画において、室内で快適に過ごせる計画とし、また、構造躯体は制震構造を採用し、ALCコンクリートを用い、耐震、耐火等級において最上級のものである。ロングライフ住宅を掲げ、良いものを長く使う計画とした。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし</p>	
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>日射に対する配慮として、庇を設け、夏涼しく、冬暖かい室内環境を計画し、主要な居室には2方向の開口を設け、快適な通風、排熱を促す計画とした。ZEH基準を満たす高性能な空調設備を取り入れ、快適な冷房、暖房の計画とした。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>構造躯体に制震構造を採用し、稀に発生する大地震に抵抗出来る計画とした。外壁材にALCコンクリートを用いロッキング工法にて取り付けている為、構造躯体に直接荷重がかからない計画とした。床、壁、天井にALCコンクリートを採用している為、屋外、屋内で発生した火災を防ぐ事が出来る計画とした。</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>閑静な住宅街に建設するため、フラット屋根を計画し、茶系の外壁色を用いる事で、街に溶け込むような外観とした。</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>太陽光発電を採用し、長期的なエネルギーの自給率を高める計画とした。IHを採用することで、室内空気を汚染しない計画とした。さらに、食器用食洗機を採用し、節水できる計画とした。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>30年間交換が要らないシーリング材を採用し、材料を長持ちさせることで、無駄なゴミを出さない計画とした。</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>エコキュート、IH、太陽光パネル等を採用し、オール電化とすることで、ガスを使用せず、汚染空気を出さず、周辺に配慮する計画とした。</p>



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

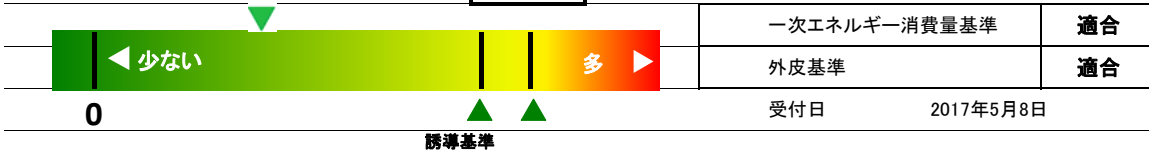
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **62** %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①屋根、外壁にネオマフォーム(断熱材)を採用し、建物外皮の熱負荷低減を行う計画とした。
- ②エコキュート、IH、太陽光パネル等を採用し、オール電化とすることで、汚染空気を出さず、周辺に配慮する計画とした。
- ③HEMSを採用し、モニターによるエネルギーの高効率管理を行う計画とした。
- ④インバータ制御の高効率設備を採用する計画とした。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

住宅性能評価書にて表記済みであり、断熱等性能等級において等級4を確保。

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤主要な居室において国のZEH基準に定められた空調計画を実施する計画とした。
- ⑤日の当たる南側には適度な庇等を設置し、日射侵入率を夏季には0.6以下となる計画とした。

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥主要な居室においては、2方向開口を設け、通風、排熱に配慮した計画。

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑧住宅性能評価書にて表記済みであり、構造躯体に制震構造を用いることで、耐震等級においた等級3を確保。
- ⑧住宅性能評価書にて表記済みであり、外壁、床、天井にALCコンクリートを採用することで、耐火等級において等級4を確保。
- ⑨食品庫を計画し、備蓄品を収納し、非常時に使用できる計画とした。
- ⑨太陽光発電を設置し、非常時、非常用コンセントの使用で冷蔵庫の電源が落ちない計画とした。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩フラットなタイプの陸屋根、茶系の外壁色を用いる事で、街に溶け込む外観とした。

#### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

#### エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

—

#### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)